

茅広江まちづくり計画

〈 令和3年度～令和7年度 〉



意見交換会



茅広江住民自治協議会

1. 茅広江地区

(1) 地区の概要

茅広江地区は上茅原、下茅原、広瀬の3地区からなり、櫛田川の左岸に位置するエリアで、人口671人、275世帯（令和2年1月）の小さな地域ですが、新緑や紅葉など自然豊かで美しい中山間地域です。また、65歳以上の人口は259人、高齢化率が38.6%と進んできている地域でもあります。

地区名は、以前の飯高郡茅原村、広瀬村、下出江村・上出江村の一字ずつをとって命名されました。

昭和41年3月茅原小学校が廃校となり、茅原町（上茅原、下茅原）は南小学校に統合、広瀬町は射和小学校へ合併、中学生は大江中学校と多気中学校へと校区が分かれました。現在、茅広江地区の中間にある下茅原に郵便局、元茅原小学校跡には、つばな保育園、茅広江地区市民センター、茅広江公民館があり地区活動の中心となっています。

茅広江地区



地域の主な課題

- ・地域内に小学校・中学校がなく隣の地域へ通学しているほか、若者の就労場所が少なく、地域を離れるものも少なくありません。人口が減少する中、核家族化が進み、高齢者の単独世帯も少しずつ増加の傾向にあります。（住民基本台帳データより）
- ・高齢化が進む中、働き世代の農林業へのかかわりも減少し、未整備の田畑や山林の荒廃も増えつつあります。また、山が近いいため害獣がたくさんおり、地域全体に防護網を張り巡らせ、定期的に保守点検・修理をおこなったり、箱罠を設置して害獣を捕獲したりしていますが、被害はたえません。

・公共交通機関として路線バスが運行していますが、交通の利便性に欠けるところもあります。

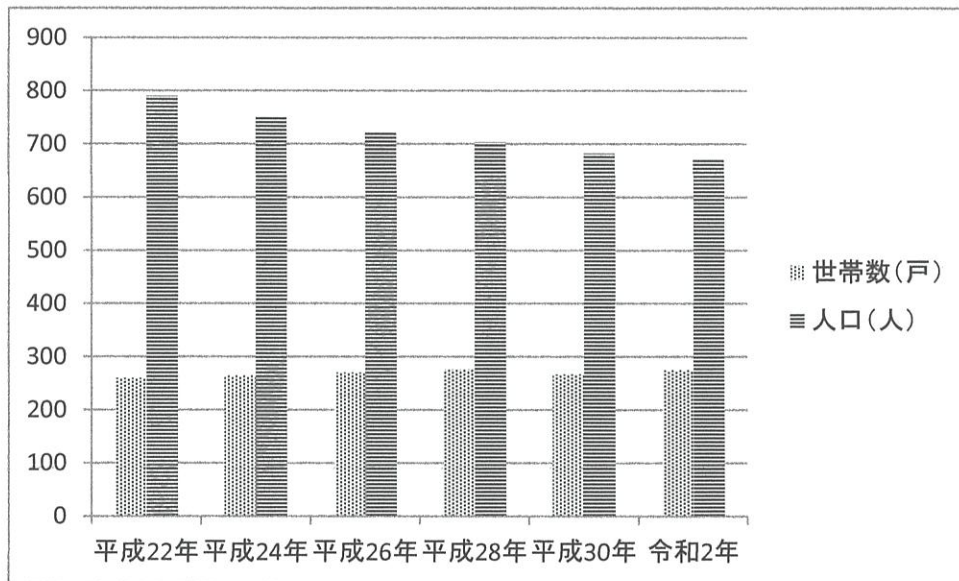
(2) 人口の推移

住民基本台帳データ

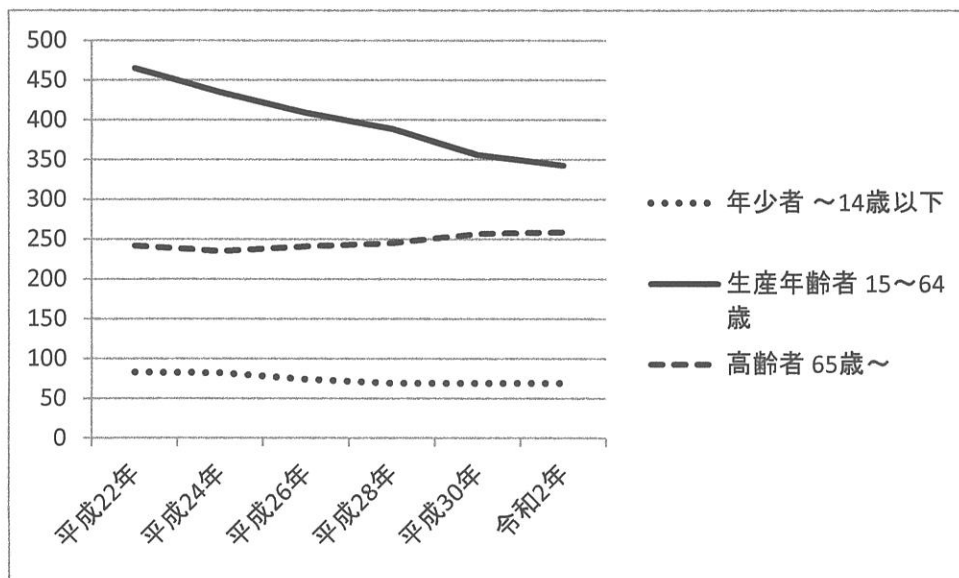
(1月現在)	世帯数(戸)	人口(人)	年少者	生産年齢者	高齢者
			～14歳以下	15～64歳	65歳～
平成22年	260	790	83	465	242
平成24年	264	752	82	435	235
平成26年	270	724	74	409	241
平成28年	276	703	69	389	245
平成30年	267	682	69	356	257
令和2年	275	671	69	343	259

高齢化率：38.6%

茅広江地区世帯数・人口推移



茅広江地区年齢別人口推移



2. まちづくり計画 活動状況

(1) 令和元年度活動状況

〈 ○：実施、△：準備、×：未実施 〉

① みんなに優しいまち・健康づくりを進めるまち（健康福祉部会）

1. 健康づくり： ○
 - ・健康講習、グラウンドゴルフ大会、市民体育祭、ふれあいマラソン&ウォーキング大会
2. ふれあいウォーキング（コースを作る・・・）： ○
 - ・ふれあいマラソン&ウォーキング大会に活用
3. 福祉活動： ○
 - ・ひとり暮らしの方への「花の慰問」、要配慮者食事サービス（お弁当の配布）
4. 老人会組織の立ち上げ： ○
 - ・ひまわり会（3地区合同老人会組織）、老人会趣味の会活動
5. ボランティア活動： △
 - ・実態調査、ニーズ調査

② 環境を守り、安心して暮らせるまち（環境・安全防災部会）

1. 環境美化活動： ○
 - ・環境美化活動（年2回）、花いっぱい活動（花の植付年2回）
※花カレンダーは平成28年作成以降未作成
2. 防災活動： ○
 - ・3地区合同消火訓練、各地区防災訓練、非常時炊出し訓練
3. 防犯活動： ○
 - ・子どもたちの登下校時の見守り活動
4. ホタル・ササユリの保護事業： ○
 - ・ササユリの生育状況調査、ホタルの生育調査活動（各自治会が生息地を保護）
5. 動物生息調査活動： ○
 - ・川（六呂木川）の生きもの調査
6. 里山の整備事業： ○
 - ・下草刈り・・・

③ 地域の自然・産業・文化を生かすまち（地域振興部会）

1. 茅広江 PR 事業： ○ ×
 - ・地域の活動状況を書いた広報紙を発行（年2回）
※電子メディアの活用は行わなかった。朝市については実施していない
2. 地域間交流事業： ○
 - ・「市民体育祭」、「ふれあいまつり」、「ふれあいマラソン&ウォーキング大会」の活動
3. 特産品を活用した事業： ○
 - ・サツマイモづくり、保育園児のイモ掘り体験、ふれあいまつりでの焼イモ販売

4. ボランティア活動： △
 - ・実態調査、ニーズ調査
5. 里山の整備事業： ○
 - ・下草刈り
6. 獣害対策： ○
 - ・獣害フェンスの保守点検、さるの追い払い活動

④ みんなで学び育て合うまち（教育文化部会）

1. 教育・趣味向上活動： ○
 - ・趣味講座、映画／音楽鑑賞会、料理教室（子ども料理教室）
2. 文化・歴史の調査活動： ○
 - ・教養講座で歴史を取り扱う
3. 研修活動： ○
 - ・歴史遺産訪問、工場見学
4. 地域で子育て支援活動： ○
 - ・保育園児との交流（年2回）
5. 人材育成事業： ○
 - ・教養講座の開設

（2）令和元年「暮らしやすい茅広江地域のための意見交換会」実施

○ テーマ1：5年後、10年後、茅広江地域で暮らす中で不安に思うこと

1. 地域の運営を維持することへの不安について
 - ・人口減少により地区の「役」「出会い」「係」などが維持できない、地域の役割が特定の人に集中する、後継者がいない
2. 買い物や通院などの移動手段や日常の生活について
 - ・運転免許を返納した後の生活（買い物や通院）などにこまりそう、独居になったときの不安
3. 空き家問題への不安について
 - ・治安が不安、空き家周囲に雑草が生えまた、野生の動物が住むのでは
4. その他
 - ・獣害で野菜が作れない、広瀬と下茅原・上茅原の学区が違うのでコミュニケーションがとれない、災害時の連絡方法等
5. テーマ以外の意見
 - ・助け合える組織があれば良い、子どもたちの遊び場を作ったほうが良い、地域の人が交流する場を作る、高齢者が外に出やすいように移動施設などが有ると良い

○ テーマ2：その不安を軽減するために自分たちで出来る事

1. 地域を維持するための行事を検討する

- ・行事の削減や統一、コミュニケーションは大切にしながら行事の整理に取り組む（負担感がある）

2. 地域で支え合う仕組みづくりの必要性

- ・地域で助け合える組織（便利屋さん、買い物、通院、草刈り、修理・・・）をつくる、独り住まいの方への声かけや話相手を得る機会をつくる、各地区に「いい場所」をつくる

3. その他

- ・ラジオ体操やグラウンドゴルフで子ども達も一緒に参加して交流、地元の農産物（渋柿、タラの芽）の観光農園をつくり地域を活性化、防災グッズの準備、隣近所に声かけをしたりする習慣づくり

4. テーマ以外

- ・子ども達の遊び場をつくる、移動スーパーを増やす、防犯カメラを増やす

3. 地域の目指す姿（令和3年～）

① みんなに優しいまち・健康づくりを進めるまち（健康福祉分野）

健康に不安を感じる方が多い中、家族や地域を巻き込み世代間を超えた健康づくりを進め、高齢者から子どもまで住みやすい、福祉の充実したまちづくりを進める。

また高齢化が進む中、高齢者が安心して安全に暮らせるために、住民による住民のための助け合い活動をめざす。

② 環境を守り、安心して暮らせるまち（環境・安全防災分野）

山や川の自然を大切に、いつまでも地域の環境を守る風土を作っていく。また、中山間地域の特徴を生かし、地域と行政が一体となった環境保全活動を行い、自治会が連携、防災・防犯活動が活発で安心して暮らせるまちづくりをめざす。

③ 地域の自然・産業・文化を生かすまち（地域振興分野）

地域の自然や特産品を生かしたまちづくりを進め、また古くから伝わる祭りの伝承と新しい風を入れたイベントを開催することで、地域の交流を進める。

④ みんなで学び育て合うまち（教育文化分野）

生涯教育を推進して地域の再発見に努め、世代を超えた交流を生み出すことで地域内での子育てを育むなど、共に学ぶまちづくりをめざす。また高齢者が世の中の情報から取り残されることのない取り組みを考えていく。

◎ 住民自治協議会スタートに伴う自治会部会との連携

住民自治協議会が地域課題の為にを行う活動が円滑に推進できるよう関係自治会や住民との連絡調整等を行う。

4. 『テーマ』

自然を生かし ふれあい 支え合い
安心してらせるまち

【将来像の考え方】

茅広江地区は自然があふれている地域です。このような自然を生かし、老若男女がふれあい支え合いながら、子どもたちを育てると共に、健康で安心して暮らしていけるまちづくりに取り組みます。

「暮らしやすい茅広江地域のための意見交換会」

実施日時：平成31年2月9日 9:30~12:00
 実施場所：茅広江地区市民センター 参加者：19名

◎ テーマ1：5年後、10年後、茅広江地域で暮らす中で不安に思うこと

◎ 地域の運営を維持することへの不安について

- ・人口減少により地区の「役」「出会い」「係」などが維持できない
地域の役割が特定の人に集中する
自治会の運営（後継者がいない）／若い人が自治会に入らない
- ・寺（広瀬地区の3つのお寺）の維持管理（若い世代の意識がない）
- ・竹藪の拡がり（竹害）が心配

◎ 買い物や通院などの移動手段や日常の生活について

- ・運転免許を返納した後の生活（買い物や通院などにこまりそう）
- ・両親が車を運転できなくなったときの負担（買い物や通院など）
- ・独居になったときの不安（衣食など）
- ・交通機関がなくなること

◎ 空き家問題への不安・・・

- ・空き家が多くなり治安が不安
- ・空き家が増えて周囲の雑草が気になる
- ・空き家に野生の動物（ハクビシン・・・など）住むので困る

◎ その他

- ・獣害（猿が多く野菜がつかれないなど）
- ・広瀬と下茅原・上茅原の学区がちがうのでコミュニケーションがとれない（行事）など
- ・災害（緊急）時の連絡方法
- ・南海トラフ大地震（公民館が狭い）など

◇ テーマ以外の意見

- ・助け合える組織があれば良い
- ・子どもたちの遊び場を作ったほうが良い
- ・高齢者が外に出やすいように移動施設などが有ると良い
- ・地域の人が交流する場を作る
- ・茅広江地区の知名度が足りない（自己紹介する時に困る）
- ・トンネルの開通（県道700号線）にともない、大きい動物が道にでてきて車の運転が危ない
- ・農産物が安くてもなかなか売れない
- ・職人さんが減っていく
- ・地域の人口が減るので自治会を合併しては？・・・など

☆ テーマ2：その不安を軽減するために自分たちでできること

☆ 地域を維持するための行事を検討する

- ・行事の削減や統一（各地区の行事が重複している）
- ・コミュニケーションは大切にしながらいち行事を整理する（負担感がある）
例えば、消防団の在り方（職場から帰ってくると終わっている）
- ・広瀬地区（約70戸）の維持が難しいので寺を合併

☆ 地域で支え合う仕組みづくりの必要性

- ・地域で助け合える組織（便利屋さん）をつくる（有償含む）
（買い物、通院、草刈り、木の剪定、雨どい修理など）
- ・地域ではなく町単位でお助け隊を結成する
（田畑の草刈り、道路周り）
- ・目安箱で集まった困りごとを地域で支援する
- ・各地区に「いこいの場所」をつくり、食べ物を持ち寄る
（情報を共有する）
- ・ひとり住まいの方への声かけや話し相手を得る機会をつくる

☆ その他

- ・チラシを配る時に少し会話をする事でコミュニケーションの機会をつくる
- ・ラジオ体操やグラウンドゴルフで子ども達も一緒に参加して交流
- ・地元の農産物（ブルーベリー、レモン、渋柿、タラの芽）の観光農園をつくり地域を活性化（休耕地の利活用）→ 知名度を上げる
- ・災害（緊急）時に備え、回転灯（SOSボタン）の設置や各自が防災グッズの準備をしたり、隣近所に声かけをしたりする習慣をつくり早めの避難行動を起こす
- ・ボランティアの心を養う
- ・道路の標識を増やす（スピード超過や追い越し禁止など）など

□ テーマ以外の意見

- ・子ども達の遊び場をつくる（遊具やバスケットゴールなど）
- ・市民センターが市役所の代わりをする
- ・移動スーパーを増やす
- ・防犯カメラを増やす
- ・道路の整備 など

茅広江まちづくり計画 活動状況と計画

令和3年2月

目指す姿	部会	事業名	事業内容	予定時期	令和元年活動状況	結果	部会	事業名	事業内容(令和3年度～)	予定時期	備考			
—	—	—	—	—	—	—	自治会		・地域課題の為にを行う活動が円滑に推進できるよう関係自治会や住民との連絡調整を行う	R3～				
みんなに優しいまち・健康づくりを進めるまち	① 健康福祉部会	1. 健康づくり	・健康講座の開設 ・健康体操・ラジオ体操の実施 ・ボウリング大会・グランドゴルフ大会 ・ふれあいマラソン&ウォーキング大会 ・ウォーキングイベント	H27～継続	・健康講習(3月)、健康食料理教室(6月、子ども料理8月、9月、2月) ・自主活動(ラジオ体操) ・ボウリング大会(8月)、グランドゴルフ大会(5月、10月) ・市民体育祭(10月)、ふれあいマラソン&ウォーキング大会(2月) ・健康ウォーキング(丹生大師 5月、1月)	○	① 健康福祉部会	1. 健康づくり	・健康体操・ラジオ体操(地区での自主活動) ・茅広江グラウンドゴルフ大会 ・市民体育祭、ふれあいマラソン&ウォーキング大会 ・健康ウォーキング(丹生大師)	R3～見直し	※健康食料理教室、ボウリング大会、南地区グラウンドゴルフ大会、健康講座を教育文化部会に移動			
		2. ふれあいウォーキング	・安心して歩け、また楽しくウォーキング出来るようなコースをつくる	H27	・ふれあいマラソン&ウォーキング大会にコース使用	○		2. ふれあいウォーキング	・ふれあいマラソン&ウォーキング大会の実施、コースの利用と整備	R3～継続				
		3. 福祉活動	・長寿を祝う活動(敬老会、小中学校敬老慰問、はがき)ひとり暮らしの方等「花の慰問」、食事サービス ・高齢者(各地区の老人会)の食事サービス	H27～継続	・長寿を祝う活動(敬老会、敬老はがき及び慰問)、ひとり暮らしの方への「花の慰問」(6月、12月)、要配慮者食事サービス(5月、11月、2月)及び紅白まんじゅうの配布(9月) ・各地区老人会にて実施。	○		3. 福祉活動	・長寿を祝う活動(小中学校敬老訪問、はがき)、ひとり暮らしの方への見守り訪問(花の慰問)、要配慮者食事サービス、紅白まんじゅう配布 ・高齢者の食事サービス(各地区の老人会)	R3～継続				
										R3～継続				
		4. 老人会組織のたちあげ	・高齢化社会に向け、あらためて老人会組織(3地区連合)をつくり、ふれあえる場を作る ・老人会連合会趣味の会	H27～	・ひまわり会の活動(8月講習会、12月見学) ・カラオケクラブ、グランドゴルフクラブ活動	○		4. 老人会組織の活動	・ひまわり会(3地区合同老人会)活動によるふれあえる場作り ・高齢者趣味の会活動(カラオケクラブ、グラウンドゴルフクラブ・・・)	R3～継続				
										R3～継続				
		5. ボランティア活動	・老人世帯が増える中、自らが整備や活動できないとき、助け合える組織づくりを行なう(地域振興部会と連携)	H30～	・他地区実態調査、ニーズ調査(地域振興部会と連携)	△		◎ ボランティア活動	※「助け合い組織ちひろえ」(仮称)の立ち上げ	R3～				
		環境を守り、安心して暮らせるまち	② 環境・安全防災部会	1. 環境美化活動	・各自治会環境美化活動(年2回) ・川の清掃活動(櫛田川、六呂木川他)	H27～継続		・環境美化活動(8月、12月)	○	② 環境・安全防災部会	1. 環境美化活動	・環境美化活動 川の清掃活動(櫛田川、六呂木川他)	R3～継続	
					・花いっぱい活動(花づくりサークルの立ち上げ)、花カレンダーの作成	H27～継続		・花いっぱい運動(苗の植付7月、12月)※花カレンダーは2016年作成以降未実施	○			・花いっぱい運動(花の植付)	R3～継続	
				2. 防災活動	・3地区合同消火訓練 非常炊き出し訓練 各地区防災訓練 ・過去の大災害などの聞き取り調査	H27～継続		・3地区合同放水訓練(7月) 非常炊き出し訓練(12月) 各地区防災訓練の実施(9月、11月)	○		2. 防災活動	・3地区合同放水訓練 非常炊き出し訓練 各地区防災訓練	R3～継続	
R3～継続														
3. 防犯活動	・子どもたちの登下校時の見守り活動			H27～継続	・子どもたちの登下校時の見守り活動	○	3. 防犯活動	・子どもたちの登下校時の見守り活動	R3～継続					
4. ホタル・ササユリの保護事業	・ホタル・ササユリを守るため、環境整備を行なうたくさんのホタルやササユリが生息できる環境づくりを行なう			H27～継続	・ササユリの生育状況調査(5月)自治会による生息地の保護活動、ホタル調査(6月)	○	4. ホタル・ササユリの保護事業	・ホタルやササユリが生息できる環境づくりを行なう	R3～継続					
5. 動物生息調査活動	・ホタルだけでなく、他の動物の生息状況を調査する(教育文化部会連携)	H28～	・川の生物調査(子どもたちによる六呂木川の生き物を調査8月)	○	5. 動物生息調査活動	・ホタルだけでなく、他の動物の生息状況を調査する(教育文化部会連携)	R3～継続							
6. 里山の整備事業	・荒廃する山林を手入れし、人がふれあえる里山をつくる。(地域振興部会と連携)	H30～	・地域による下草刈り等活動(自治会との連携事業)	○	6. 里山の整備事業	・荒廃する山林を手入れし、人がふれあえる里山をつくる。(地域振興部会と連携)	R3～継続							

茅広江まちづくり計画 活動状況と計画

令和3年2月

目指す姿	部会	事業名	事業内容	予定時期	令和元年活動状況	結果	部会	事業名	事業内容(令和3年度～)	予定時期	備考
地域の自然・産業・文化を生かすまち	③ 地域振興部会	1. 茅広江PR事業	・地域内外に向けて茅広江の活動や良さを広めていく	H27～継続	・広報紙発行(年2回 6月、2月発行)	○	③ 地域振興部会	1. 茅広江PR事業	・地域内外に向けて茅広江の活動や良さを広めていく	R3～継続	・朝市は中止
			・広報紙の発行(年2回)、電子メディアの活用		・電子メディア未活用	×					
			・朝市	H27～継続	・未実施	×					
		2. 地域間交流事業	・保育園、小学校、PTA、老人会等と連携して、交流する(ふれあいまつり、ウォーキング)	H27～継続	・10月「市民体育祭」、11月に「ふれあいまつり」、2月に「ふれあいマラソン&ウォーキング大会」を実施	○		2. 地域間交流事業	・保育園、小学校、PTA、老人会等と連携して、交流する、「市民体育祭」、「ふれあいまつり」、「ふれあいマラソン&ウォーキング」	R3～継続	
		3. 特産品を活用した事業	・そばづくり体験	H27～継続	・6月サツマイモづくり、11月保育園児によるイモ掘り体験、ふれあいまつりでの焼きイモ販売	○		3. 特産品を活用した事業	・作物栽培体験(サツマイモ・・・栽培)	R3～継続	
		4. ボランティア活動	・老人世帯が増える中、自らが整備や活動できないとき、助け合える組織づくりを行なう(健康福祉部会と連携)	H30～	・他地区実態調査、ニーズ調査	△		4. ボランティア活動	※助け合い組織を健康福祉部会に立ち上げる	—	
5. 里山の整備事業	・荒廃する山林を手入れし、人がふれあえる里山をつくる(環境・安全防災部会と連携)	H30～	・地域による下草刈り等(自治会との連携事業)	○	5. 里山の整備事業	・荒廃する山林を手入れし、人がふれあえる里山をつくる(環境・安全防災部会と連携)	R3～継続				
6. 獣害対策	・獣害フェンスの保守点検、さるの追っ払い	H27～	・地域による獣害フェンス保守点検、捕獲、さるの追っ払い(自治会との連携事業)	○	6. 獣害対策	・獣害フェンスの保守点検、さるの追っ払い	R3～継続				
みんなで学び育て合うまち	④ 教育文化部会	1. 教育・趣味向上活動	・趣味講座	H27～継続	・趣味講座(短歌教室、小筆教室、詩吟、読書会、写真教室、ちひろレストラン)	○	④ 教育文化部会	1. 教育・趣味向上活動	・趣味講座、映画鑑賞・音楽鑑賞会、ボウリング大会、南地区グラウンドゴルフ大会	R3～見直し	※健康食料理教室、ボウリング大会、南地区グラウンドゴルフ大会を教育文化部会で取り扱う
			・映画、音楽鑑賞		・映画鑑賞会(2月)、音楽鑑賞会(1月)				・料理教室(健康料理、子ども料理教室・・・)		
			・ものづくり教室、体験学習、料理教室等		・ものづくり(11月)、川遊び体験(7月)、子ども料理教室(8月)、相可高校料理教室(11月)				・ものづくり教室、体験学習(生き物調査等は環境・安全防災部会と連携)		
		2. 文化・歴史の調査活動	・地域に古くから伝わる歴史的遺産の検証や伝承などを調査	H27～継続	・教養講座(7月)で歴史を取り扱った	○		2. 文化・歴史の調査活動	・地域に古くから伝わる歴史的遺産の検証や伝承など調査等	R3～継続	
		3. 研修活動	・文化遺産、工場見学	H27～継続	・社会見学(5月 工場、文化的遺産訪問)	○		3. 研修活動	・社会見学(工場、文化的遺産訪問)	R3～継続	
4. 地域で子育て支援活動	・高齢者による伝統的な遊びなどを伝承する場の設置	H27～継続	・保育園児と高齢者との交流(5月、11月)	○	4. 地域で子育て支援活動	・高齢者による伝統的な遊びなどを伝承する場の設置	R3～継続				
5. 人材育成事業	・サークルや講座の開設、人材ネットワークの整備	H28～継続	・教養講座(7月)	○	5. 人材育成事業	・サークルや講座(健康講座等)の開設	R3～見直し	※健康講座を教育文化部会で取り扱う			